

河川砂防技術研究開発公募 流域計画・流域管理課題分野
平成26年度採択テーマ 中間評価結果

(中間評価 2年目)

テーマ名および概要		提案者名	評価	中間評価コメント
テーマ	行政と住民間の連携を考慮した河川環境改善と水害リスク軽減に関する研究	琉球大学 神谷 大介	c	アンケート調査の実施とその分析が進められているものの、研究の目的である環境創成型流域減災計画方法論にどのように結びつくのか道筋が不明確であることから、研究計画を修正する必要がある。
概要	河川管理者および住民間の連携による平時の河川環境改善と災害リスク軽減を目的とした環境創成型流域減災計画方法論を実証的研究により構築する。			
テーマ	高度数値解析による河川氾濫詳細被害情報を活用した災害時のコミュニティバス活用方策の研究開発	埼玉大学 小嶋 文	b	氾濫解析やバス運行の社会実験などの個々の研究は着実に進められている。時系列に沿った避難行動の具体的なシナリオを提示することに留意しながら、研究を継続することが妥当と評価する。
概要	高度な河川氾濫被害想定結果を基に、コミュニティバスを避難者増大のためのツールとして活用し、「高度水害リスク情報を踏まえた公共交通機関の避難支援活用方策と避難効率の向上」方策の開発を図る。			

評価の凡例

- a:非常に優れた研究であった。
- b:優れた研究であった。
- c:条件付きで評価できる(研究費の減額等)。
- d:優れた研究ではなかった(研究の打ち切り)。